

2022年度 日本工学院専門学校											
C G 映像科											
アニメーション演習 4											
対象	3 年次	開講期	後期	区分	選択	種別	講義	時間数	60	単位	2
担当教員	向井 真史			実務経験	有	職種	CGアニメーター				
担当教員紹介											
大手CGプロダクションでCGデザイナーとして勤務。携わった作品多数。リギング、アニメーションに特化した専門力によりアニメーター志望学生のレベルアップを担う。											
授業概要											
近年多用な場面で使用されている3DCGアニメーションの技術とリグの基礎知識を習得するため、アニメーションの基礎や人体構造、主に骨格や筋肉ついて学ぶ。併せてカメラの操作方法やレンズの知識を習得する											
到達目標											
以下、2 点を目標とする 1. 人体構造を理解し、ゲーム、アニメ、映画、CMなどあらゆるジャンルで対応できるアニメーション能力を身につける 2. 人体のモデルに対して、基本的な骨入れ、スキニング、コントローラーの付け方を習得する。											
授業方法											
レクチャーと個別指導を中心に、Mayaを使ったリグ&アニメーション知識と技術を紹介する。											
成績評価方法											
課題	70%	作品の完成度によって評価									
成果発表	10%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価									
平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価									
履修上の注意											
授業中の私語や受講態度には厳しく対応する 理由のない遅刻・欠席は認めない 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない											
教科書教材											
開校時に配布した課題表、参考作品をもとに授業中に指示をする また、各々の進行状況に合わせ授業中に参考資料を共有する											
回数	授業計画										
第1回	・開講にあたって（ガイダンス） 授業内容を共用し、アニメーションワークフローを学び、授業時間以外の課題について理解する(実践)										
第2回	・レクチャー&個別指導 技術（Mayaの操作）と表現（アニメーション）を理解する(実践)										
第3回	・レクチャー&個別指導 技術（Mayaの操作）と表現（アニメーション）を理解する(実践)										
第4回	・レクチャー&個別指導 技術（Mayaの操作）と表現（アニメーション）を理解する(実践)										
第5回	・レクチャー&個別指導 技術（Mayaの操作）と表現（アニメーション）を理解する(実践)										

2022年度 日本工学院専門学校	
C G映像科	
アニメーション演習 4	
第6回	・レクチャー&個別指導 技術（Mayaの操作）と表現（アニメーション）を理解する(実践)
第7回	・レクチャー&個別指導 技術（Mayaの操作）と表現（アニメーション）を理解する(実践)
第8回	・レクチャー&個別指導 技術（Mayaの操作）と表現（アニメーション）を理解する(実践)
第9回	・レクチャー&個別指導 技術（Mayaの操作）と表現（アニメーション）を理解する(実践)
第10回	・レクチャー&個別指導 技術（Mayaの操作）と表現（アニメーション）を理解する(実践)
第11回	・レクチャー&個別指導 技術（Mayaの操作）と表現（アニメーション）を理解する(実践)
第12回	・レクチャー&個別指導 技術（Mayaの操作）と表現（アニメーション）を理解する(実践)
第13回	・レクチャー&個別指導 技術（Mayaの操作）と表現（アニメーション）を理解する(実践)